

『フォーラム接点』実践報告 ②

地域の活性化と絆づくりをめざして

『あすなるの里まつり』について

輪島市立浦上公民館

◎はじめに
浦上公民館は、国道二四九号線から百メートル程入った「あすなる交流館」の中にある。当館は、この地域で唯一の公的な施設である。地理的利便性も高く、地域住民はもとより当地域以外の住民の利活用も多い。

土・日を含めた年間の利用人数は、貸館を含めて年平均九千人にのぼるため、年間の開館日はほぼ三百五十日を超える。館内には、約千九百万年前に、当地で発見されたワニの足跡とレプリカが展示されており、子どもたちや関心のある人たちが見学に訪れる。また、近くには県木に指定されている「アテの元祖」もあり、地域外の見学者も多い。この地域や施設及び団体や事業名に「あすなる」という名称が冠されているのは、そのことに因る。

◎地域の世帯数と人口

二十六集落、二百三十五戸。人口五百四十三人（令和元年九月一日現在）となっており、高齢化率は六十八％。八十歳以上は二十二％であり、全て限界集落である。少子高齢化の顕著な地域である。

◎月一回の『公民館だより』発行 ◎公民館活動のコンセプト

『誰もが気軽に集い、学び、絆を深める活動を目指して』
一、地域の諸活動の核として、果たすべき役割を認識する。
二、住民が興味・関心を持つ講座、利活用しやすい施設の充実と運営をめざす。
三、地域の活性化と絆づくりに結びつく活動や事業を模索する。
四、防災・減災の拠点としての役割を意識した活動を実施する。

◎公民館の施設等

ホール・和室二・調理室・館内休憩室・ワニ展示室・簡易図書棚・健康広場・館外下野休憩場所・農園等

◎公民館の行事・講座・活動及び貸館等の内容

【行事】

新年互礼会・竹の子と山菜の市・あすなる納涼祭・敬老会・運動会・あすなるの里まつり・防災訓練

【講座等】

観桜の茶会・十五夜の茶会・健康ウォーキング（十一回）・男性料理教室（四回）・ケーキ作り教室・教養講座・講演・そば

作り教室・うらかみ百歳体操（毎週一回）・パソコン教室（月二回）・こけ玉作り教室・柿の葉寿司作り教室・新春麻雀大会・こんにやく作り・AED講習会等

【高齢者対象講座】

ぽっかぽかサロン（月一回）・いきいきクラブ（月一回）

【あすなるキッズ講座】

通学合宿（二泊三日）・学習会・料理教室・工作教室・お菓子作り教室・あすなる親子体験教室とお楽しみ会等

【公民館に係る奉仕活動】

VGと野菜クラブによる農園の野菜栽培・花壇整備と花植え・年七回程度の草刈り作業等環境美化

【貸館】

同好会Gゴルフ・大正琴教室・詩吟教室・舞踊鳳舞会・パッチワーク教室・手芸教室・区長会・婦人会・友和会・民生委員会配食サービス・防犯委員会・交通安全協会・各集落活動・劇団あすなる・JAおおぞら・浦上駐在所連絡協議会・中山間地農業関係会議・市政懇談会・納税申告会場等

【その他】

台風等災害時の避難場所・祭礼立寄り所・消防団練習場所等



《地域と連携した公民館活動》

『あすなるの里まつり』

◎出発点

当地の農林資源を活用した地域起こしの組織として「浦上里おこし会」を立上げる。以後、農産物を主として地域おこしを実践している各地を訪問・視察を重ねる中で、そばやコンニャクなどの栽培などを中心とした地域起こしを目指す。

公民館の農園では主としてそば、各農家ではコンニャク、耕作放棄地ではわらびなどの栽培を行い、それらの販売と浦上全地域を挙げたの地域おこしと絆づくりを結びつける組織として『あすなるの里まつり』を立ち上げる。

以後、更なる研鑽を深め、知恵を出し合い、先達の遺産を受け継ぎながら世代交代をはかり、新たな内容

を加味しながら今日に至っている。

◎「実行委員会」組織(約二六〇)

会長・副会長(区長会長・公民館長・婦人会会長)・事務局(主事)

各担当部長・委員

◎予算二四〇〜四五万円

◎実施二十一月第二日曜日

・総会(三月) ↓役員会(九月)

↓実行委員会(十月)

◎準備二開催日の二日前から

・公民館内外の会場設営
・各模擬店の販売品を含めた準備

・来賓への招待状

・劇団「あすなろ」練習(約一月)

・芸能発表の要請(公民館教室)

・各種展示

◎内容

・開会イベント(八幡太鼓と餅まき)

・農林産物品評会(野菜・果物・加工品・アテの苗・山イモ等)

・芸能発表(公民館教室の大正琴・詩吟・舞踊)

・各種展示(習字・木目込み人形・写真・パッチワーク・手芸・竹細工・生け花・高齢者作品等)

・里おこし会直営(そば・おはぎ・炊き込みご飯・こんにやく・焼きおにぎり・無料

二けんちん汁)

・模擬店(焼き鳥・焼き芋・たこ焼き・カレー等)

・住民個人販売二あおぞら市場

(野菜・果物・かきもち・こ

んにやく・山菜・漬物やジャムの加工品・特産品二竹炭・竹酢液
・劇団「あすなろ」の発表(地元有志)

・交流会(慰労会二会費制)

【餅まき】

当地区からは勿論、近在集落からも多くの人が来場する。約二千個を用意。八幡太鼓はその景気づけとして行う。

【第三十一回二令和元年度】

天候に恵まれ、これまでに無い盛況で約二百五十人の皆さんが地域内外から来場くださり、スタッフ百五十人とあわせて約四百人となり、大変な賑わいを見せた。

品評会・模擬店・個人出店の品物は、行列がつくなど、ほとんどが完売であった。

また、新企画や劇団あすなろの芝居も大変好評で、次年度への大きな弾みとなった。



【品評会出品】

約百二十点近くの農林産物が並び、審査を行い等級を決め、商品券を渡す。なお、参加者全員に参加賞を用意する。



【里おこし会直営店】

そば・もち・焼きおにぎり・栗おこわ等を販売するが、行列ができるなど、売れゆきは好調で早い段階で売り切れる部門もあった。来場者はずきつきたての餅が終了するまで順番をついていた。

また、当地区の特産のコンニャクも大変人気があり、売り切れの状況であった。





【模擬店】
 従来からJAおぞらや趣味の団体及び個人が、野菜や飲食物などを販売し、里まつりの賑い創出に協力していただいている。特に数年前から出展しているたこ焼きは毎年行列が出来ている。今年もまた、同様であった。その他の品物も時間までにはほとんどが完売した。



【余技展】
 個人や公民館の教室及び高齢者のサークル等で作製した折り紙や簡単な工作、写真クラブの写真や友人はだしの竹細工は見事である。但し、高齢化により出展数が減少しているのが残念である。



【芸能発表】
 月や週単位で公民館を利用して練習している各教室（大正琴・詩吟・鳳舞会）の日頃の練習成果を発表する場にもなっている。また五年前に立ち上げた劇団『あすなろ』の地域の素人集団による演劇は大変好評で、今年も会場は立錫の余地なく一杯であった。

- ◎里まつりの課題・対策・展望**
- 【成果】**
 三十年の継続は、住民の意識変革と団結・絆、そして各種団体との結びつきを深めると同時に、地域の活性化に大きく寄与している。今後も当地区にとっては不可欠な事業として位置付けていかねばならないと考えている。
- 【課題】**
- ① 他地域とイベントが重なり来場者の減少
 - ② 各種団体や公民館利用者との連携と協力関係の強化
 - ③ 実行委員が高齢化し、委員の確保が年々困難
 - ④ 住民の高齢化で農産物や余技展・模擬店の出品が減少
- 【対策と結果】**
- ① 地域の情報収集↓「たこ焼き」
 - ② 新規内容の検討↓劇団『あすなろ』・『朝市』の立上げ・『里まつり』のスタッフ以外への来場者への抽選券配布等
 - ③ 若年層への積極的な働きかけと婦人会など各種団体との強固な連携↓内容の充実及び意識の変化と協力体制の強化
 - ④ 緻密な総括と各種団体や住民との意見交換の実施↓住民の意欲と協力態勢の喚起
- 【展望】**
 今年の盛況の原因をきちんと分析・総括をする中で、来年に繋げることができれば、見通しは明るいと確信を得た。